

ロマンの湯入浴券が  
ペアで当たる!

超難解!?  
広報クイズ

あなたもクイズに答えて不知火温泉「ロマンの湯」の入浴券(2枚セット)をゲットしませんか! 超難解な問題も広報うきをよく読めば分かるかも。正解者の中から、抽選で6人にプレゼントします。締め切りは10月13日(金)まで。

問題

Q1. 宇城市内の図書館で図書・雑誌・紙芝居を借りた場合、返却は何週間以内にしなければなりませんか?

- ① 1週間以内
- ② 2週間以内
- ③ 3週間以内

Q2. 宇城市が10月から毎週木曜日に行う窓口時間延長は午後何時まで?

- ① 午後6時まで
- ② 午後7時まで
- ③ 午後8時まで

Q3. 10月1日から、出産育児一時金の支給額はいくらになりましたか?

- ① 30万円
- ② 35万円
- ③ 40万円

【応募方法】 官製ハガキまたはメール、FAXで必要事項(クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・性別と身近な話題や市に対するご意見、またはイラストなど)を書いてお送りください(身近な話題・イラストなどはみんなの広場などで紹介します)。

【応募先】 〒869-0592  
宇城市役所広報統計課  
FAX 32-0110  
メールアドレス  
kohotokeika@city.uki.lg.jp

◆ 9月1日号の正解は、1-③ 2-③ 3-②でした。応募総数41通で33人が正解でした。抽選の結果、次の8人が当選となりました(敬称略)。図書カードをお送りします。波野由美子(三角町波多)、西本みどり(不知火町亀松)、山川美智子(不知火町長崎)、桑園幸雄(松橋町久具)、中村公人(松橋町豊福)、石原亨(松橋町曲野)、那須朝子(小川町小川)、坂田慶子(豊野町糸石)



準優勝おめでとう!

9月9日、10日に宇土市でジュニアサッカー大会が開催され62チームが出場。豊野ジュニアサッカークラブの「とよのリアル」が強豪揃いのクラブチームを僅差で下し1年生の部で準優勝に輝きました。子どもたちは保護者たちにたくさんの感動を与えました。

**もてなしの心**  
●ミセスだん!  
夏に娘と1泊2日で阿蘇に行きました。あちこち回り、宿でもおいしい食事があり、温泉もゆつくり楽しめました。阿蘇ほどの季節に行っても、何度行っても何かしらステキな思い出が出てきて、また行きたいなあ〜と思います。もちろん世界に誇る大自然や温泉も魅力ですが、+αで地元や宿、店の人たちのもてなしの心というのが、押し付けがましくなく、さりげなく温かく、気持ちがいいのです。宇城市も「また行きたい!」「住みたい!」と思える故郷にしたいものです。  
☆有名な観光地ともなると住民一人一人がもてなしの心を持つ

てらっしやいますね。学ぶところが多いです。  
**主人の大好きなぶどう**  
●村崎絹子(不知火町亀松)  
宇土に行ったらテラスの下にぶどうが日よけに植えてあった。西日が当たるわが家にとっては実に名案である。来年は友達に頼み全体苗をもらって植えてやるぞ!。そして成功させて食べてやるぞ!  
☆ブドウの日よけ、見た目にも大変すてきです。うまく実るといいですね。  
**夏の帰省**  
●中山百合子(不知火町小曾部)  
熊本県に主人の仕事の都合で引っ越してきて15年目。毎年夏

休みは、東北の母親に会いに行きます。コスモスライナーを初めて利用させていただきました。いつも娘に頼んで空港まで送ってもらっていたのですが、1人でゆつたりとして高速から町並みを眺めながらのノンストップは、とても良かったです。帰りは時間の都合で乗車できず、空港、駅、タクシーの乗り継ぎで帰りましたが、倍の時間がかかりました。とてもありがたい企画ですね。これからも続行してください。  
☆空港直行バスは、多くの人に好評をいただいております。中山さんのお便りを読んで乗りたくなった人も、きっと大勢いらっしゃるでしょう。

初出場で全国3位! 入賞おめでとう



このほど埼玉で開催された第9回全国小学生(3、4年生)ティンボール選手権大会で、32チームが出場する中、不知火ファイターズが3位に入賞しました。

みんなの広場

市役所広報統計課 広聴広報係 ☎32-1111 FAX32-0110  
メール kohotokeika@city.uki.lg.jp

ここはあなたが主役の広場です。身近な話題、出来事、イラストなどをお寄せください。

先輩は語る

●大槻光(豊野小学校評議員)  
豊野小では開かれた学校づくりの一環として、数年前から地域の先輩方を講師に、児童集会で「先輩は語る」が実施されています。9月5日は県教育庁文化課に勤務する伊藤友美子さんが講師でした。特に印象に残ったのは、物事に興味を持つだけでなく、疑問に思ったことは納得のいくまで調べることや、嫌いな教科にも挑戦してほしいと熱く語られたことです。



私語一つなく真剣なまなざしで聞く児童の態度からも、今回の話が児童一人一人にとって大きな励みになったことは間違いないと思います。これも日ごろから校長先生を中心に全職員

が一体となって取り組んでおられる成果だと感じ、うれしく思います。

☆講師の伊藤さんは大槻さんの教え子とのこと。立派に成長された姿を見て、さぞうれしかったことでしょう。後進のためになる素晴らしい取り組みですね。

三角島原フェリー

●川崎ハツミ(三角町前越)  
8月29日、三角島原フェリーが廃止となりました。夫は島原の人です。それも家は港から車で5分くらいの所です。互いの親は今元気にしていますが、病気は持っています。これから行き来しなくてはいけないのにとても残念です。私たちが新港まで行くのが大変ですが、島原の妹は車の運転をしません。三角港までバイクで来ていました。これからはそうもいきません。いつかまた運航してもらえたらと思っています。

☆フェリーターミナル「海のピラミッド」と共に町のシンボルだったフェリー。なくなるのは寂しい限りですが、にぎわいを取り戻すために、市も市民の皆さんと協力して運航再開への道を探っていきます。

入賞おめでとう



入賞おめでとう

9月3日に三角B&G海洋センターで第2回宇城市三角B&G会長杯少年柔道大会が開催され、県内から団体の部9チーム、個人の部247人が出場しました。旧町時代から数えて15回目となるこの大会は、嘉納杯で優勝した秋本啓之選手など多数の県出身の日本代表が昔、チビッコ柔道家として出場した歴史ある大会です。団体の部で三角秀光塾が2連覇を達成。3位に小川少年柔道クラブが入賞しました。

最優秀賞



「夢の海の道」  
谷崎尚弘君(不知火小4年)

熊本県賞



「ふるさとの道」  
内富莉乃さん(豊福小5年)